

おいしさと健康

Glico

第105期

中間(第2四半期)
報告書

[平成21年4月1日▶平成21年9月30日]



江崎グリコ株式会社



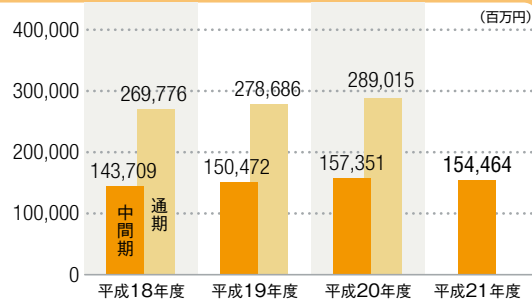
Glicoの理念 おいしさと健康

おいしさの感動を、健康の喜びを、
生命の輝きを

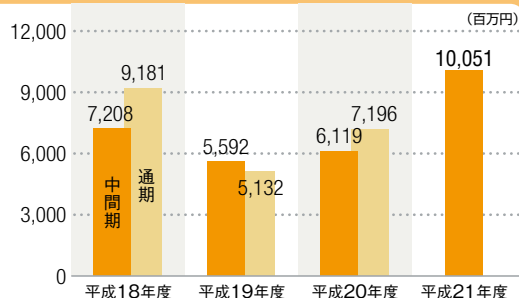
Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
いきいきとした生活づくりに貢献します。

財務ハイライト | 連結

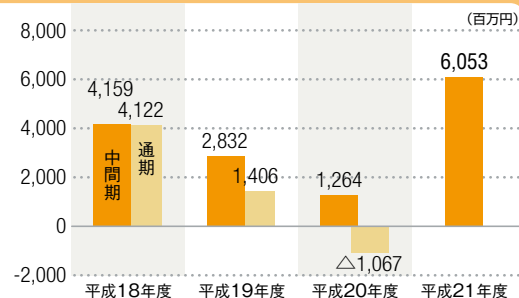
売上高



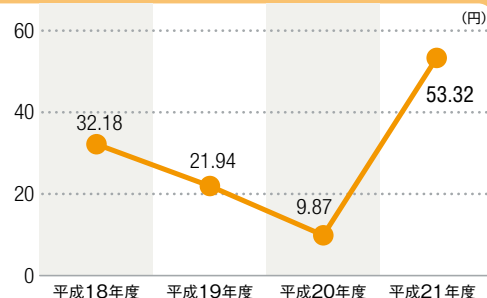
経常利益



当期(中間)純利益



1株当たり中間純利益



C O N T E N T S

株主の皆様へ	2
部門別の概況(連結)	3
2010年3月期の重点取り組み	5
連結決算の状況	7
トピックス 新製品のご紹介	9
ニュース	13
会社概要	15
株式の状況	16
株主メモ	17
株券電子化後の各種手続きについて	18

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。当社の第105期中間報告書をお届けするにあたり、ひとことごあいさつ申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、世界的な景気悪化の影響が引き続き企業収益を圧迫する厳しい状況となりました。国内景気は一部に持ち直しの兆しは現れているものの、雇用・所得環境の改善が見られない中、依然として消費者の生活防衛意識は根強く、食品業界にとっては厳しい経営環境が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品の強化を中心とした販売促進対策を重点的に展開してまいりました。

その結果、売上面では、食品部門は増収となりましたが、菓子部門、冷菓部門、牛乳・乳製品部門及び畜産加工品部門は減収となったため、当第2四半期連結累計期間の売上高は154,464百万円となり、前年同期（157,351百万円）に比べ1.8%の減収となりました。

利益面につきましては、製品規格の見直し等により売上原価率がダウンしたことに加え、広告宣伝費が減少いたしました。

取締役社長

仁崎勝久



その結果、営業利益は9,544百万円と前年同期（5,879百万円）に比べ3,665百万円の増益となり、経常利益は10,051百万円と前年同期（6,119百万円）に比べ3,931百万円の増益となりました。

また、当第2四半期連結累計期間は投資有価証券売却益等を特別利益に計上し、投資有価証券評価損等を特別損失に計上しました。その結果、四半期純利益は6,053百万円となり、前年同期（1,264百万円）に比べ、4,789百万円の増益となりました。

なお、中間配当金は、当初予定通り1株当たり5円といたしました。

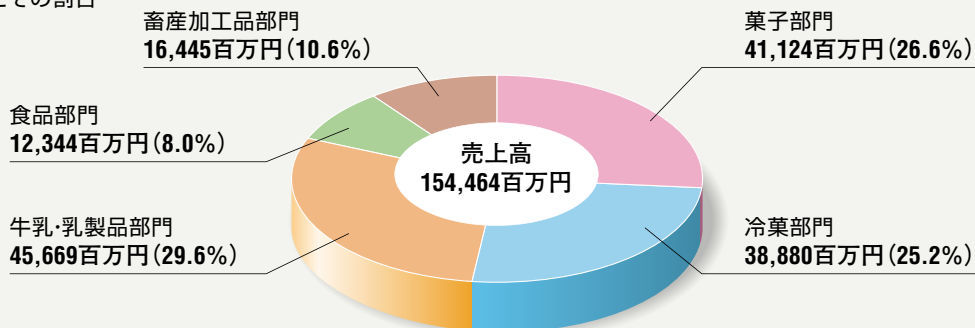
下半期につきましても、国内景気は依然として厳しい状況が続くと見られ、当社グループを取り巻く環境はますます厳しくなるものと予想されますが、グループ企業全社を挙げて業績向上をはかり、株主の皆様のご期待にこたえる所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

部門別の概況 連結

部門別売上高とその割合



菓子部門

41,124百万円

前年同期比5.6%の減収



国内では、新製品“かるじゃが”、“スクイーズ”が売上を伸ばし、“チーザ”も前年同期を上回りましたが、「ブリッツグループ」等は前年同期を下回りました。また、海外では、タイ、上海の海外子会社が前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は41,124百万円となり、前年同期(43,577百万円)に比べ5.6%の減収となりました。

冷菓部門

38,880百万円

前年同期比0.7%の減収



主力の“アイスの実”が好調に推移し、“パリッテ”も順調に売上を伸ばしました。一方、“パビコ”、“牧場しぼり”等は前年同期を下回りました。また、卸売販売子会社も減収となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は38,880百万円となり、前年同期(39,157百万円)に比べ0.7%の減収となりました。

牛乳・ 乳製品部門

45,669百万円

前年同期比0.7%の減収



クラッシュカフェゼリー及びフルーツミックスに加えて、新味ベリーミックスを発売した“ドロリッチ”が引き続き好評で、順調に売上を伸ばし、“カフェオーレ”も前年同期を上回りました。一方、清涼飲料やヨーグルト及びプリン関係は前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,669百万円となり、前年同期(45,995百万円)に比べ0.7%の減収となりました。

食品部門

12,344百万円

前年同期比4.4%の増収



主力の“2段熟カレー”が前年同期を上回り、“ちよい食べカレー”等の「レトルトカレー」も順調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は12,344百万円となり、前年同期(11,822百万円)に比べ4.4%の増収となりました。

畜産加工品 部門

16,445百万円

前年同期比2.1%の減収



“A-グル”等の食品原料は前年同期を上回りましたが、ソーセージ等は前年同期を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,445百万円となり、前年同期(16,797百万円)に比べ2.1%の減収となりました。

2010年3月期の
重点取り組み

1

国内事業の収益力強化

2010年3月期、グリコグループは「①国内事業の収益力強化」「②海外事業への積極投資の継続」という二つの重点取り組みを策定し、業績向上を目指しています。これらの重点取り組みのうち、今回は「①国内事業の収益力強化」について詳細をご紹介します。

主力品・2～3年目製品の売上拡大に注力

国内事業の収益力を強化するため、収益性の高い既存主力品と、育成・定着を目指す2～3年目製品の売上拡大に力を注いでいます。また、市場環境を見据え、発展の望めない不採算製品の販売終了を進めることにより、全体に占める既存主力品および2～3年目製品の売上比率を上昇させ、全体の収益性改善に努めています。

●売上拡大に注力する製品例

既存主力品

菓子部門：ポッキー、ブリッツ、ガム
冷菓部門：ジャイアントコーン、
バビコ、
セブンティーンアイス
食品部門：2段熟カレー
牛乳・乳製品部門：カフェオーレ

2～3年目製品

チーザ、
かるじゃが、
ドロリッチ

●取り組み事例 ▶ 既存主力品の売上拡大

ポッキー&ブリッツ

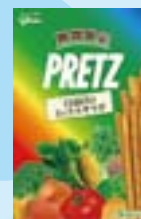
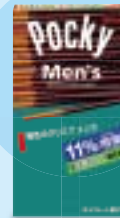
「ポッキー&ブリッツの日」に合わせて プロモーションを展開しブランドを活性化

第11回「11月11日ポッキー&ブリッツの日」に合わせて、テレビCMやさまざまなメディア、イベントなどを活用し、プロモーションを展開しました。ブランドを常に活性化することで、シェアの維持・拡大を狙っています。



1,111円分の図書カードを11,111名にプレゼント

ポッキー基幹
3品を11%増量



記念ポッキー・
ブリッツを限定発売

● 取り組み事例 ▶▶ 2～3年目製品の育成・定着

おつまみスナック群

“クラッツ”、“チーザ”で 「おつまみスナック」の ラインアップを強化

“クラッツ”、“チーザ”での「おつまみスナック」のラインアップを強化します。また自宅での飲酒(宅飲み)需要を喚起し、お酒に合うお洒落な「おつまみスナック」というポジションの確立を図ります。

“チーザ”に新味
「ゴルゴンゾーラ」
を発売



買い置き需要に応える
「4連パック」
「大袋タイプ」を発売

“クラッツ”に新味
「スモーキーチーズ」を発売



ドロリッチ

ラインアップを強化するとともに 広告とクチコミで市場定着へ

ストロベリー、ラズベリーなどをミックスした「ベリーミックスゼリー クリームin」を新発売し、ラインアップを強化しました。言葉では表現できない不思議な食感を体感いただくため、街頭やオフィス、インターネットなどで積極的にサンプリングを行い、広告と口コミで市場定着を推進しています。

“ドロリッチ”シリーズ
第3弾を発売



テレビCMと並行して
街頭やインターネットで
サンプリングを実施



自社ホームページで
クチコミを促進

2010年3月期の見込み (2009年11月現在)

厳しい経済状況と市場競争が続く中、2010年3月期の売上高は287,700百万円と前連結会計年度を0.5%下回る一方、効率的な運用や管理費削減により、営業利益は10,500百万円と2009年3月期を64%上回ることを見込んでいます。

売上高
2,877億円

➡
-13億円
(09/3月期比)

営業利益
105億円

➡
+41億円
(09/3月期比)

連結決算の状況

■ 四半期(中間)連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)
[資産の部]			[負債の部]	
I 流動資産	77,176	88,642	I 流動負債	76,342
現金及び預金	11,198	13,852	支払手形及び買掛金	28,942
受取手形及び売掛金	29,971	32,697	短期借入金	21,862
有価証券	9,900	17,093	未払費用	18,559
商品及び製品	8,445	7,871	未払法人税等	872
仕掛品	932	914	役員賞与引当金	88
原材料及び貯蔵品	10,841	10,736	販売促進引当金	1,195
その他	5,983	5,649	その他	4,823
貸倒引当金	△95	△172	II 固定負債	16,601
II 固定資産	115,875	120,482	長期借入金	5
(有形固定資産)	66,463	69,303	退職給付引当金	12,133
建物及び構築物(純額)	21,291	21,231	役員退職慰労引当金	344
機械装置及び運搬具(純額)	25,623	26,104	その他	4,117
土地	14,647	14,660	負債合計	92,944
その他(純額)	4,900	7,307	[純資産の部]	
(無形固定資産)	2,083	2,706	I 株主資本	101,495
ソフトウェア	590	1,057	資本金	7,773
その他	1,493	1,649	資本剰余金	7,426
(投資その他の資産)	47,328	48,472	利益剰余金	112,935
投資有価証券	36,819	39,098	自己株式	△26,639
その他	10,901	9,825	II 評価・換算差額等	△3,095
貸倒引当金	△392	△451	その他有価証券評価差額金	△1,228
資産合計	193,051	209,125	繰延ヘッジ損益	△635
			為替換算調整勘定	△1,231
			III 少数株主持分	1,707
			純資産合計	100,107
			負債純資産合計	193,051
				209,125

四半期(中間)連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (20.4.1~20.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (21.4.1~21.9.30)
I 売上高	157,351	154,464
II 売上原価	91,786	86,741
売上総利益	65,565	67,723
III販売費及び一般管理費	59,686	58,178
営業利益	5,879	9,544
IV営業外収益	1,217	1,283
(受取利息及び配当金)	665	536
(その他)	551	746
V営業外費用	976	775
(支払利息)	177	160
(その他)	799	614
経常利益	6,119	10,051
VI特別利益	358	47
VII特別損失	2,440	344
税金等調整前四半期純利益	4,038	9,754
法人税、住民税及び事業税	2,367	3,433
法人税等調整額	153	82
少数株主利益	252	184
四半期純利益	1,264	6,053

四半期(中間)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (20.4.1~20.9.30)	当第2四半期 連結累計期間 (21.4.1~21.9.30)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,038	9,754
減価償却費	4,841	4,902
減損損失	69	117
販売促進引当金の増減額(△は減少)	1,296	52
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△608	△277
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△127	△164
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△91	△88
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19	133
受取利息及び受取配当金	△665	△536
支払利息	177	160
売上債権の増減額(△は増加)	△4,744	△2,558
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,545	765
仕入債務の増減額(△は減少)	6,229	2,850
その他	7,380	3,719
小計	16,268	18,829
法人税等の支払額	△797	△1,050
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,471	17,778
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△251	△111
定期預金の払戻による収入	250	200
有価証券の取得による支出	—	△1,298
有価証券の売却による収入	301	—
投資有価証券の取得による支出	△609	△251
投資有価証券の売却による収入	1,280	1,231
有形固定資産の取得による支出	△5,653	△7,123
有形固定資産の売却による収入	339	34
貸付けによる支出	△267	△320
貸付金の回収による収入	363	345
利息及び配当金の受取額	682	557
その他	△529	△758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,092	△7,494
III財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,651	△10,929
長期借入れによる収入	—	10,000
利息及び配当金の支払額	△1,486	△1,248
少数株主への配当金の支払額	△17	△16
自己株式の取得による支出	△1,433	△23
その他	△1	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286	△2,240
IV現金及び現金同等物に係る換算差額	△113	171
V現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,978	8,214
VI現金及び現金同等物の期首残高	15,803	19,581
VII現金及び現金同等物の四半期末残高	26,781	27,796

菓子

菓子部門

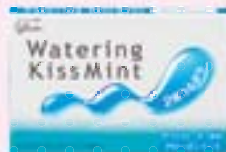
Wウォーター製法で 2度うるおう

[Watering KissMint]

〈フローズンミント〉〈マスカット&マスカット〉
〈ライチ&レモン〉〈フローズンアップルミント〉

「お口がうるおい、息をキレイに保つ」ことができる板ガム『ウォーターリングキスマントガム』。世界初*の技術でうるおい感をパワーアップさせました。「お口に入れた瞬間」と「噛み続けた時」のうるおい感を同時に満たす新しい味わいのご提案でガム市場の活性化を図ります。

*ガムにおいて 当社調べ



まるでチーズを カリカリに焼いたような

[チーザ]

〈ゴルゴンゾーラチーズ〉
〈カマンベールチーズ〉〈チェダーチーズ〉

チーズを原料として51%以上使用(ナチュラルチーズ換算)してカリカリに焼き上げた「おつまみチーズスナック」です。濃厚なチーズの旨みと心地良い食感がお酒の味を引き立てます。新味〈ゴルゴンゾーラチーズ〉を新発売し、「おつまみ市場」でのさらなる拡大を狙います。



チョコレートムースを バニラアイスで包み込んだ、 新食感のデザートカップアイス

【ハッピー Spoon】

“ふんわりとろける”チョコレートムースをやさしい甘さのバニラアイスで包みこんだ新しいデザートカップアイスです。スプーンですくうたびに、今までにないチョコレートムースのふんわりとやわらかな食感が楽しめます。



※発売エリア= 関東甲信越

「とろ〜り」やわらかな チョコソースが入った、 しっとりやわらかモナカアイス

【やわとろ】

バニラアイスと、冷凍下でもとろりとやわらかいチョコレートソースを、しっとりやわらかいモナカ皮で包みました。ほんのりピターなチョコソースとバニラアイスがお口の中でからまる、やさしい甘さのモナカアイスです。



食品

食品部門

サクサクパイをスープに絡めて楽しむ ちょっと贅沢なカップ入りスープ

【パイスープ】

〈コーンポタージュ〉〈北海道産じゃがいものポタージュ〉

『パイスープ』はグリコの菓子作りで培った技術を生かして焼き上げたパイを、スープに絡めて食べるカップ入りスープです。始めはサクサク。スープが染み込むと、とろ〜りとした食感になるパイはポタージュスープと相性抜群です。新規性のある素材、メニューの提案で市場の活性化を図ります。



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

ストローで吸って食べる、 人気シリーズ第3弾!

【ドロリッチ ベリーミックスゼリー クリームin】

クラッシュゼリーとクリームの吸イーツ!『ドロリッチ』シリーズの第3弾。ベリーミックスゼリーとクリームが程よく混ざり合う不思議な食感をお楽しみいただける、ストローで飲むスイーツです。



畜産加工品等

グリコ栄養食品株式会社

フライパンを使って簡単に作れる 具たくさん「スープおかず」

【クレアおばさんのスープシチュー】
〈クリーム〉〈トマト〉〈ブイヨン〉

シチューのようにたっぷりの具材を楽しむスープのおかず“スープシチュー”を、シチューでおなじみ『クレアおばさん』の新シリーズで展開します。簡単にフライパンでお好みの野菜と加工肉を加えて作れ、お子様も野菜がたっぷり食べられます。



スキンケア商品

アイクレオ株式会社

赤ちゃんの肌を守る神秘のヴェール 「胎脂」に着目して開発しました

【アイクレオ モイスチャーヴェール】

上段左から〈化粧水〉〈乳液〉〈ボディ用クリーム〉
下段左から〈ジェル状クリーム〉〈リップ〉〈日焼け止め〉

赤ちゃんが誕生するときに包まれている「胎脂」は空気中での乾燥という環境から、赤ちゃんの未発達な肌を守る働きをします。この胎脂の類似成分として開発された「モイスチャーリピッド成分」が、繊細な女性の肌をやさしく包みます。



*モイスチャーリピッド成分は〈乳液〉〈ボディ用クリーム〉〈ジェル状クリーム〉〈リップ〉に配合

CO₂削減に向け、目標と方針、施策についてのマスタープランを策定

江崎グリコグループ全体で今後さらにCO₂排出量を減らしていくため、削減目標と取り組みの方針、および施策についてのマスタープランを策定しました。この計画のもと、江崎グリコ、グリコ乳業、グリコ栄養食品、アイクレオと各社の生産子会社、関西フローズン、東北フローズンの全ての関係会社が一体となってCO₂削減に向けた取り組みを推進していきます。



CO₂削減に向けたマスタープラン

【CO₂削減目標】

- ① 直接排出する生産部門および本社・営業部門は、2011年度末までに2007年度比でCO₂排出総量を7.5%削減する
- ② 間接排出する物流部門は、毎年CO₂排出原単位(CO₂排出量/売上高)を、対前年比1%以上削減する

【取り組み方針と施策】

- ① 省エネ・省資源を優先的に推進して、直接排出するCO₂を削減するとともにコストダウンにも貢献する
 - グリコグループで排出するCO₂の67.7%は生産部門から排出されています。マスタープランでは、生産部門における省エネ設備の導入や、重油使用設備のクリーンエネルギー使用設備への転換を進めます。
 - 冷暖房の空調や照明などを停める・減ずる・絞ることがCO₂削減につながります。そのため、まずエネルギーのムダを徹底的に見直し、省エネを進めていきます。
- ② 間接的に排出するCO₂の削減活動を推進する
 - 輸送手段の変更や積載量のアップにより輸送効率を高めます。
 - アイスクリューや乳飲料の自動販売機に省エネタイプを投入します。
- ③ 全社員が身近な活動で、CO₂削減に貢献する
 - 取り組みを一過性のものにさせないための推進組織を作ります。
 - 全社員が参加提案できるECOキャンペーンやECO提案の実施とPRを進めます。

那須グリコ栄食が「JAS優良工場」に

平成20年度「JAS(日本農林規格)優良工場」に、那須グリコ栄食株式会社を選出されました。同社では、商品・生産工程いずれについてもJAS法で定められた規格基準に合致するよう、品質管理担当者が中心となって、日々

チェックと問題改善を行っています。優良工場の名に恥じないよう、今後もさらに工程の管理レベルの向上と改善を図り、お客様に喜んでいただける「おいしい」商品の生産に努めていきます。



「親子料理教室」を各地で開催

夏休み期間中に、全国各地で「親子料理教室」を開催しました。

「おいしさと健康」の企業理念のもと、江崎グリコは「食育」に取り組んでいます。食育を応援する活動のひとつとして、親子で夏休みの思い出を作れる場を提供し、楽しんでいただきました。

〈カレー教室〉

- 7/29 愛知県名古屋市長 (共催 株式会社不二屋様)
- 8/1 広島県広島市長 (共催 株式会社フレスタ様)
- 8/24 大阪府大阪市長 (共催 株式会社万代様)

〈手作りウインナー教室〉

- 8/8 福島県福島市長 (共催 株式会社いちい様)



「キッズ水泳教室」を各地で開催

水泳のオリンピックメダリストである中村真衣さん、中西悠子さんをコーチに招き、全国各地で「キッズ水泳教室」を開催しました。模範泳法を披露するなど熱心な指導のほか、水中でのゲームなども行い、いずれの会場も大いに盛り上がりました。

- 6/14 愛知県名古屋市長 (共催 ユニー株式会社様)
- 7/5 兵庫県川西市 (共催 株式会社関西スーパー様)
- 8/18-19 愛知県名古屋市長・大阪市長 (共催 株式会社ヤマナカ様)
- 9/6 新潟県新潟市長 (共催 原信ナルスホールディングス株式会社様)

「Mt.富士ヒルクライム」に協賛し、「CCDドリンク」を提供

「富士の国やまなし Mt. 富士ヒルクライム」(山梨県富士吉田市)に、江崎グリコは第1回大会から6年連続協賛し、オフィシャルドリンクとして「CCD (Cyclic Cluster Dextrin) ドリンク」を提供しています。

富士山を舞台に行われるこの大会は、自転車のヒルクライム大会としては

日本最大の規模を誇ります。自転車は環境に優しい乗り物として年々人気を高めており、2009年6月7日に催された第6回大会には、過去最高の約5,500人が参加しました。当日は、当社社員も「日本の宝=富士山」のゴミ削減運動に参加し、ボランティアの方々とともにゴミ拾いにさわやかな汗を流しました。



会社の概要

商 号 江崎グリコ株式会社
 創立年月日 大正11年2月11日
 資 本 金 7,773,681,654円
 営 業 品 目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。
 従 業 員 数 1,106名
 本社所在地 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

主な事業所

- 本社
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話 (06)6477-8352
- 北海道統括支店
〒003-0807
札幌市白石区菊水7条二丁目7番1号
電話 (011)812-6311
- 東北統括支店
〒981-0912
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号
電話 (022)717-2821
- 関東統括支店
〒370-0828
群馬県高崎市宮元町38番10号
電話 (027)330-1914
- 首都圏統括支店
〒108-0023
東京都港区芝浦四丁目16番23号
電話 (03)3798-0717
- 中部統括支店
〒461-0022
名古屋市中区東大曾根町22番28号
電話 (052)919-0714
- 近畿統括支店
〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話 (06)6477-8470
- 中国統括支店
〒732-0816
広島市南区比治山本町16番35号
電話 (082)250-4111
- 九州統括支店
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東三丁目13番28号
電話 (092)474-0331

主な関係会社

北海道グリコ株式会社
 仙台グリコ株式会社
 茨城グリコ株式会社
 グリコ千葉アイスクリーム株式会社
 東京グリコ株式会社
 武生グリコ株式会社
 三重グリコ株式会社
 関西グリコ株式会社
 神戸グリコ株式会社
 グリコ兵庫アイスクリーム株式会社
 鳥取グリコ株式会社
 九州グリコ株式会社
 江栄情報システム株式会社
 株式会社グリコ物流サービス
 東北フローズン株式会社
 関西フローズン株式会社
 THAI GLICO CO., LTD.
 EZAKI GLICO USA CORP.
 上海江崎格力高食品有限公司
 上海江崎格力高南奉食品有限公司
 グリコ乳業株式会社
 グリコ栄養食品株式会社
 アイクレオ株式会社

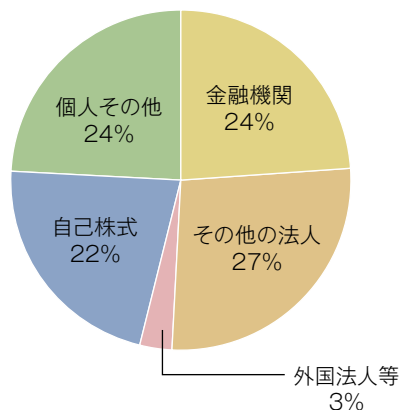
役 員

代表取締役社長	江 崎 勝 久	取 締 役	江 崎 悦 朗	監 査 役(常勤)	芝 池 正 明
取 締 役	原 光 伴	取 締 役	益 田 哲 生	監 査 役	玉 井 英 二
取 締 役	吉 田 安 矩	取 締 役	江 崎 正 道	監 査 役	倉 持 治 夫
取 締 役	中 川 宗 和	取 締 役	安 積 正 裕	監 査 役	枡 田 圭 兒
取 締 役	栗 木 隆	監 査 役(常勤)	穴 穂 忠 男		

株式の状況

会社が発行する株式の総数	470,000,000株
発行済株式総数	144,860,138株
株主数	15,186名

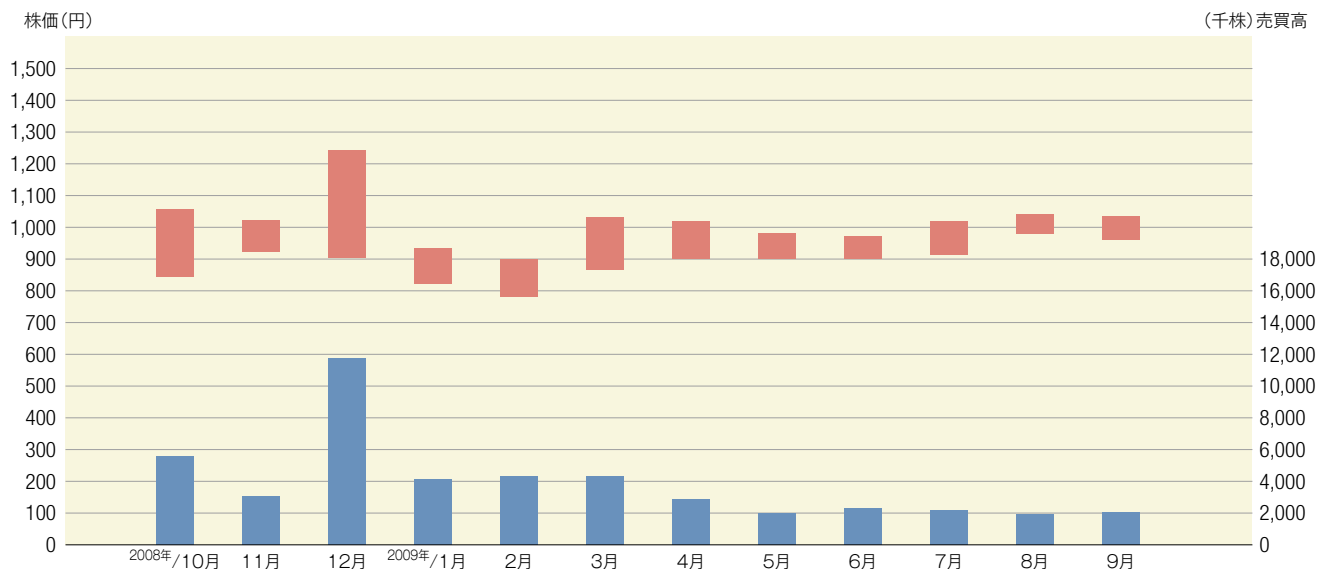
所有者別株式数比率



大株主

氏名又は名称	持株数(千株)
掬泉商事株式会社	8,263
江崎正道	7,240
大同生命保険株式会社	7,000
日清食品ホールディングス株式会社	7,000
佐賀県農業協同組合	5,887
大日本印刷株式会社	3,197
日本生命保険相互会社	2,342
三井住友海上火災保険株式会社	2,111
大正製薬株式会社	2,020
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,981

株価および株式売買高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便の場合

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

☎ **0120-176-417**

インターネット ホームページURL

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法

当社のホームページに掲載する。
(<http://www.glico.co.jp>)

上場証券取引所

東京証券取引所、大阪証券取引所

株主様 ご優待

1,000株以上ご所有の株主様に、つぎの要領で、当社製品の詰め合わせを贈呈させていただいております。

- 贈呈時期 6月末頃と12月中旬頃にお送りいたします。
- 贈呈基準 3月31日現在および9月30日現在の株主様へ

1,000~
1,999株



市価 約800円相当額製品

2,000~
9,999株



市価 約1,600円相当額製品

10,000株
以上



市価 約3,000円相当額製品

※写真は、詰め合わせ商品例

株券電子化後の各種手続きについて

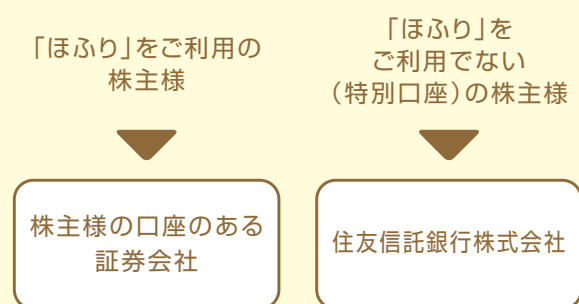
2009年1月5日に株券電子化となりました。名義や住所の変更などのお届出やご照会、また株券電子化後の单元未満株式の買取・買増のご請求については、いくつかご注意が必要です。

1 株式に関するお届出先 およびご照会先について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主メモ(17ページ)記載の住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先(0120-176-417)にご連絡ください。

お届け先・ご照会先



※「ほふり」：株式会社証券保管振替機構

2 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、株主メモ(17ページ)記載の住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先(0120-176-417)をお願いいたします。

3 1,000株に満たない株式の 買増・買取をご検討ください

1单元(1,000株)に満たない株式は、市場での売買ができませんが、当社で、お持ちの株式と併せて1,000株となるように株式をお売りする、もしくは1,000株未満の株式を買取らせていただくことができます。

その際のお手続きにつきましては、証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、株主メモ(17ページ)記載の住友信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先(0120-176-417)にご連絡ください。



江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.co.jp>